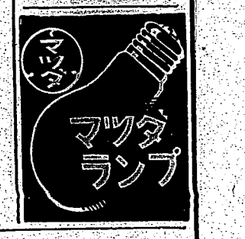
（第二種）（明治廿一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年八月二十七日（土曜日）　臺灣日日新報　第一萬三千八百七號

臺灣昌新民報 夕刊

八月二十六日

夕刊定価一部二錢

臺北市榮町七丁目二番地　臺灣日日新報社
基隆支局　電話七八番
臺中支局　電話一五〇番
臺南支局　電話三〇番
高雄支局　電話一〇番
花蓮港支局　花蓮港街入船町
大阪支局　大阪市西區阿波座堀通一ノ一
東京支局　東京市芝區櫻田本郷町三ノ一　第一ビルディング内



今度は獻鐵運動
商工省の音頭で

【東京二十六日發同盟】商工省は軍需關係の供給關係のため鐵屑其の他金屬類の回收を圖つて來たが愈〻二十五日より全國的に屑鐵獻納運動を開始することゝなつた、之が運動の實施に當つては各地方廳を通じ各種團體を動員して屑鐵の供出を勸奬し、又各地の工場、鑛山、發電所、鐵道、船舶、倉庫、ガス事業場、官廳、學校、會社、銀行、商店、一般家庭等に於ける不用の鐵屑を一齊に供出せしめ、之が回收を圖ることゝなつた、尚ほ今回の運動實施に當つては各地方廳に於ては夫々地方の實情に應じ適當なる運動方法を講ずることゝなつてゐる

【東京二十六日發同盟】政府の統制經濟政策の强化は愈〻いつまで續くかは一般に重視されてゐるが、これは國際情勢の推移如何に關するもので、現在の處では何とも豫測を許さないが、少くとも二十五日の閣議懇談會に於て村瀨商工次官が述べた如く相當長期に亙る覺悟を必要とし、政府の重要施策は之に對する決意を明かにした

時來れば經濟統制は解消に傾くべきものであるが、現在の國際情勢は決して樂觀を許さず、寧ろ一般に經濟統制に關する方策が全體系統的に强化されんとする傾向にあり、從來の自由主義經濟に復歸し得ることは一般に豫想されてゐる旅客機攻撃の如きも已むを得ぬ事件と英紙の論評

【ロンドン二十五日發同盟】中國航空會社の旅客機が二十四日日本軍用機の襲撃を受けて不時着した事件に關聯して二十五日のデーリー・テレグラフ紙は同紙外交記者の論説を掲げ戰時において非軍用機が攻撃を受けても已むを得ない點次の如く述べてゐる

戰時において旅客機が屢〻危險に曝されることがあるにしても一般に旅客機されてゐる飛行を攻撃することは許されたる行爲ではない、日本は支那と戰爭状態にあるとはいへないが、一九三七年英、佛、日、米、和蘭の諸國に於ける國際法に關する解釋によれば、支那の航空機は敵國の航空機と見做されるのであり、從つて支那の航空機が旅客を運んでゐるとしても攻撃を受けることになるが、それでも英國の輿論は旅客機攻撃を非難するであらう、その根本理由は第二國に對する國交保護の必要と生命財産保護の必要とに依據して經濟統制の强化が必要であるからである

統制經濟政策は
相當長期に亙る
村瀨商工次官が言明

【東京二十六日發同盟】政府の統制經濟政策の强化は愈〻いつまで續くかは一般に重視されてゐるが、これは國際情勢の推移如何に關するもので、現在の處では何とも豫測を許さないが、少くとも二十五日の閣議懇談會に於て村瀨商工次官は左の如く相當長期に亙る覺悟を必要とし、政府の重要施策は之に對する決意を明かにした

時來れば經濟統制は解消に傾くべきものであるが、現在の國際情勢は決して樂觀を許さず、寧ろ一般に經濟統制に關する方策が全體系統的に强化されんとする傾向にあり、從來の自由主義經濟に復歸し得ることは一般に豫想されてゐる旅客機攻撃は
已むを得ぬ
不時着事件と英紙の論評

【ロンドン二十五日發同盟】中國航空會社の旅客機が二十四日日本軍用機の襲撃を受けて不時着した事件に關聯して二十五日のデーリー・テレグラフ紙は同紙外交記者の論説を掲げ戰時において非軍用機が攻撃を受けても已むを得ない點次の如く述べてゐる

一般に旅客機されてゐる飛行を攻撃することは許されたる行爲ではない、日本は支那と戰爭状態にあるとはいへないが、一九三七年英、佛、日、米、和蘭の諸國に於ける國際法に關する解釋によれば、支那の航空機は敵國の航空機と見做されるのであり、從つて支那の航空機が旅客を運んでゐるとしても攻撃を受けることになるが、それでも英國の輿論は旅客機攻撃を非難するであらう、その根本理由は第二國に對する國交保護の必要と生命財産保護の必要とに依據して經濟統制の强化が必要であるからである

聖恩は廣大無邊
特別復權の上奏人員は
實に一萬五千名の多數

【東京二十六日發同盟】去る二月二十二日憲法發布五十年に際し發せられた恩赦令に依り特別復權の上奏手續は七月末日を以て終了したが特別復權の上奏人員は實に一萬五千名の多數に上つてゐる、尙右の一萬五千名に對する特別復權の上奏人員は當の復權となることになつた、而して特別復權の上奏人員は當の復權より遡かに多數に上り二萬名に達するので司法當局では聖恩の廣大無邊に感泣してゐる、尙右の一萬五千名に對する特別復權狀を發行し終るのは十月末頃となる豫定である

之も蔣の頭痛の種
孫科のソ聯依存進言

【上海二十六日發同盟】蔣介石が重慶に於て開催した國防最高會議の席上孫科は「ソ聯の援助は絶對に必要とするが故に之が獲得に努力すべし」と進言したが之は蔣介石の頭痛の種を增すものと注目されてゐる

バルカン進出の
足場を獨は確保
ホ提督と會見の結果

【ベルリン二十五日發同盟】ハンガリー攝政ホルテイ提督一行の數日間に亘る獨逸滯在は愈〻二十四日朝獨逸側の歡送裡に終了したが今後如何なる展開を示すかは全歐注視の焦點となつてゐるが、ホルテイ提督に從つてベルリンに派遣中のハンガリー政府筋發表では二十五日A.P記者に對し「獨伊間の緊密を示して次の如く語つた

小協商國に對する獨伊の立場は變化なく、トリアノン條約並に第一次ウィーン裁定に對する獨伊の態度も變化なく、ハンガリーに對する獨伊の好意的ゼスチアーにもつと早くなるべきで今となつてはもう手遲れだ、トリアノン條約に依つてハンガリーに課せられてゐた各種の制限に就ては既に大體クリアされ殘るは僅かである、ハンガリーの再軍備は經濟的にも財政的にも可能であり、且つ特に物資獲得の點に於て獨逸の援助を得つゝあるが故に今後數年間に於ては相當の發展を遂げ得るであらう、ハンガリーは獨逸の經濟的發展に伴ひ益〻重要な市場となるであらう、ハンガリーは獨逸の經濟的發展に伴ひ益〻重要な市場となるであらう、ハンガリーは獨逸の經濟的發展に伴ひ益〻重要な市場となるであらう、ハンガリーは獨逸の經濟的發展に伴ひ益〻重要な市場となるであらう

一、ドイツはバルカン經濟進出の足場としてハンガリーを確保したものの如く、この點はドナウ經濟相が近く「ブダペスト」を始めバルカン諸國を行脚する前觸れの如くにも看取される

二、ハンガリーは再建成れるドイツ海軍を對英上自國の海兵として考へる

商工省の要求額
一億を突破
前年度豫算の約二倍

【東京二十五日發本社特電】商工省では廿四日午後省内で豫算の計畫内容に付き說明會開催、關係官の重視されたが何分にも臨時物資關係、殊に重要物の增産、輸出の關係的擴充、統制經濟實施の急務等大國策的に關聯して來年度豫算の計畫内容に付ては先程綱領豫算トの如く發表されたが何分にも臨時物資關係、殊に重要物の增産、輸出の關係的擴充、統制經濟實施の急務等大國策的に關聯して來年度豫算の計畫内容に付ては先程綱領豫算トの如く發表されたが何分

滿鐵の明年度
事業豫算

【大連二十五日發同盟】滿鐵の明年度事業豫算は目下編成中で九月下旬までには出來上る豫定であるが經理局の査定方針は時局柄出來る限り緊縮財政の建前で

一、日滿を通ずる物資統制

一、各事業の必要性

一、資材購入の可能性

の三點から査定を行ふ豫定である、而して新規の見通は社內一般三千万円、特別事業費二千万円、社外設備一億七千万円、合計一億三千万円程度で明年度北支交通會社出資も加へると一億五千万円に上るものと見られる、これに對する資金計畫は昭和國策の他の關係方面と連絡を密にするの外、一般社會の資金吸收を圖る外に方法はないが、滿鐵の事業は本年度內に於ても既に各種の計畫が進められて居り、從つて明年度に於ても既定の計畫を繼續實施するの外、新規事業は極力これを抑へ、事業の重點を國防產業の擴充に置き、資材、資金、勞力の重點的使用を期する豫定である

その日その日

すつかり赤に染つて歸つた、その脊の子「赤」社、彼を相手にするのはソ聯だけで、英佛などとも握つてゐるまみ

○

そこで新たドウ出て、日ソ兩國は戰爭の結果一段と緊張の度を加へるであらう、時局柄當然のことゝ言へよう、併し

少年團歌高らかに 事變下に意氣昂る

聯合少年團 新庫で結團式

總長訓示

聯合少年團の結團式に臨し全國の少年團員諸君を前に所感の一端を披瀝する機會を得ましたことは私の最も喜びとする處であります

我國が過ぐる二千年の悠久の世界に比類の無い美しい國體であることは諸君も十分御承知のことでありませう

此の間に於て世界のあらゆる文物を輸入攝取しましたが何れも皆之を消化し醇化して我國獨自の日本文化を創成したのであります

少年團教育に於きましても英國には英國の少年團、獨逸には獨逸の少年團、又伊太利には伊太利の少年團と云ふ樣に世界各國共それぞれ其の國情に依つて育てられた少年團がありますが日本にも古來から我國獨特の少年團組織がありました

從つてそれは光輝ある日本の國體のもとに三千年の歷史の中に生れた日本獨自の型に於て其の發展をとするの外無いのであります

彼の維新の國運興隆の地に起つた薩長の兒童や、或ひは會津白虎隊の如きは何れも日本少年團の代表的なものと申すべきもので此の間に於ても亦それぞれ日本式の少年團となる發展をみるべく皆諸君の胸につかと樹てられてゐることと固信します

特に我國に於ては內外相待つて一丸となり日本武士道を其のままに受け繼ぐ日本式の少年團となる樣此の非常時局に際會して益〻奮勵努力あらんことを望むものであります

本日此の聯合少年團の結團を見るに當りまして總團長を仰せられた閣下の御下に、又各地の團長の指導の下に、全く一家族的氣分に於て團結し、之が出來たのは本總督の務めにも增へない樂である

諸君は少年團を助ケガに於て指導者の代表者として立派な少年團員となるやうに修練に努めて下さい

總督告辭

本日此の「ギャング」に於て聯合少年團の結團式を擧ぐるに當り諸君と相會するを得たことを心から喜ぶものであります

諸君は各地から擧つて優良なる分團から選ばれた分團長の下に集り共の元氣一杯の姿を見ることが出來たのは本總督の務めにも增へない樂である

諸君は少年團を助ケガに於て指導者の代表者として立派な少年團員となるやうに修練に努めて下さい

繁文縟禮を改めて 警察事務を刷新

犯罪檢擧の件數主義も打破

警察當局が全國に亘つて整理刷新し國民の福利を圖る一方檢擧を身輕にして警察本來の治安確保に當らせようと云ふのである

散々な石友三軍

濟南奪還どころか 徹底的に擊滅さる

ソ聯に獨立陰謀團 アゼルバイザンで發覺

大屯平の 山小屋が竣工

二十七日に落成式

けさ賣切れ

基隆の事變公債

臺北地方本部を結成

國防婦人會が 九月一日擧式

賣るな銀狐の襟巻

輸出した方がよいとあつて 女性の虛榮心に冷い國策風

風水害救濟費に三十萬元

上海市政公署が支出

荒鷲の巢移轉

敵のエスピー機から 分捕つた彈倉

きのふ海軍省へ屆く

獻納の毛布など 軍倉庫に山積

銃後の赤誠に當局感激

東京府でも近く 白米食を廢止

業者の會議で意見一致

各會場とも 參加者多數

北署の主婦會

ぜん息・神經痛や 中風・高血壓

今津博士の素晴しい研究

不治てない

帯下・誤る女性

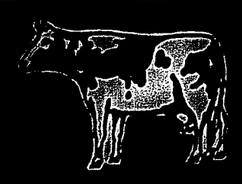
生れ乍らの運命まで変る

病原の治療簡易へ進歩 運・明るく開ける

經費が省け使用感がよい 明朗婦人薬 最新研究の發明

H.K.10

練馬石乳牛



夏ずさラアを肌のけや日
——るて育にかや健
ノいさ下用愛御に舞の肌わに秀は真

揉まずに洗へて布地を傷めぬ ミツワフレーク

本舗 東京日本橋兩國◎丸見屋商店

泌々胸を衝く貴薬のお情け

前略御免下さいませ。
先日新聞にて御貴社真珠粉の使用法を拝しました。ワセトン様の女医様でだん〳〵良い方に向ふ様です。これも全く御貴社のたまもの非常に嬉しく思つてをります。

お手本は皆様 誌にお手数ながら「女性の新生面学」三冊お送り下さい。

幸運へ招く 御礼申し上ます。

要領よく洗ふには

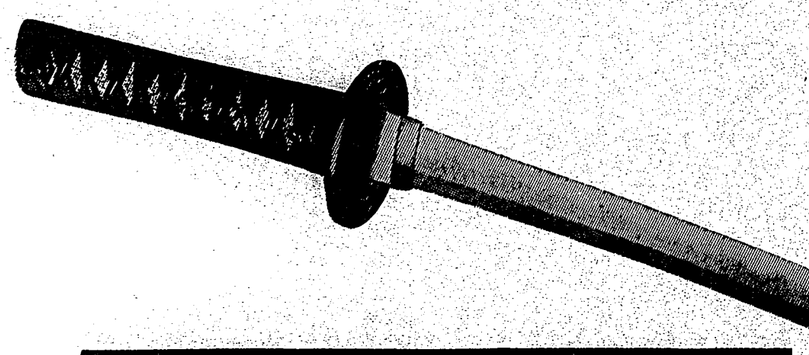
スフ物が比較的水に弱いといふことは、濡れると繊維がゆるむからです。乾けばまた元の様な状態になる譯で、洗濯の要領も此點を中心に考へる必要があります。擦つたり、強く揉んだりする事は何より禁物で、振り洗ひが一番よろしいのです。それには石鹸も、ムラのない溶液の出来る、不純物をふくまない植物性の高級品を選ばなくてはなりません。所が遊離アルカリつ混のてゐない洗料は溶液が不均一になり易い事情があつて、適當なものは誠に少いのです。たゞ、ミツワフレークだけは純粋の品質でありながら鱗片狀といふ非常に溶解に好都合な形狀なので直ぐに具合のよい溶液が出來、短時間で要領よくスフ物が洗へます。布地や染色の安全なことは申す迄もなく、後で臭い臭ひのする心配など決してありません。御家庭での上手なお洗濯は品物の保存から考へても消費節約の意味からいつても何より大切だと思ひます。

ルビスビエ
ルビロポッサ
ルービヒサア
ルビンオニユ

大日本麥酒株式會社

日本刀の如く冴えたる四大ビールの爽快味はよく酷暑を征服し健康を調整す

このビールには何れも麥芽酸、蛋白質、アルカロイド、燐酸鹽、などの人體に必要の成分が、よく吸收され易いかたちで含まれてをります。



定價二十錢

洗ふにはミツワフレークを

江戸桃花陣 (124)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

金亡者 (四)

（承前）

次郎吉の出現は、全く意外であった。

それまで、彼はここがどういう寺の境内であろうと、しめつぽい地下の墓場の中にそこはかとなく漂っている線香の匂いのためにさえ気付かないでいたのであった。

それでも、彼はここがどういう寺の境内であろうと、しめつぽい地下の墓場の中にそこはかとなく漂っている線香の匂いのためにさえ気付かないでいたのであった。

時々ぽつぽつ雨滴が落ちてくるようになった。

次郎吉の出現は、全く意外であった。

それまで、彼はここがどういう寺の境内であろうと、しめつぽい地下の墓場の中にそこはかとなく漂っている線香の匂いのためにさえ気付かないでいたのであった。

時々ぽつぽつ雨滴が落ちてくるようになった。

次郎吉の出現は、全く意外であった。

それまで、彼はここがどういう寺の境内であろうと、しめつぽい地下の墓場の中にそこはかとなく漂っている線香の匂いのためにさえ気付かないでいたのであった。

時々ぽつぽつ雨滴が落ちてくるようになった。

次郎吉の出現は、全く意外であった。

それまで、彼はここがどういう寺の境内であろうと、しめつぽい地下の墓場の中にそこはかとなく漂っている線香の匂いのためにさえ気付かないでいたのであった。

時々ぽつぽつ雨滴が落ちてくるようになった。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人 佐々木一吉

臺北市榮町四丁目十番地 所在 社報新日報社

電話 編輯代表五〇〇番 營業部一〇〇番 庶務部二一〇五番 印刷部二一〇六番

定價 一部六錢 一ヶ月前金一圓五十錢 一ヶ年前金十八圓 日本國內外地及滿洲國 一ヶ月同上 一圓 一ヶ年同上十二圓

廣告料 特別一行十五錢 同上 一日本國內外地及滿洲國 一ヶ月同上 一圓 一ヶ年同上十二圓

社說

東部電源開發と統制問題

理想と實際を考慮の要あり

一

臺灣經濟發展の基礎調査を目指して、昨年度から着手された臺灣產業調査會は、既に第一年度の調査を終了して、目下第二年度の調査を進めつゝあるが、その調査事項は、農業、林業、水產業、鑛業、工業、交通、貿易、金融、財政、經濟、社會、文化、行政、司法、警察、衛生、人口、移住、勞働、土地、氣象、觀光、統計、調査機關等、實に廣汎多岐に亘つてゐる。

二

而して、この調査會の調査事項は、單に臺灣の現狀を明かにするのみならず、將來の臺灣經濟發展の基礎を確立するために、必要なる施設の計畫をも樹てようとするものであるから、その調査事項は、單に

米穀證券の期限 二ヶ月に短縮

金融界の要求を容れて 廿五日發行分から實施

【臺北二十六日發電】米穀證券の期限は從來三ヶ月とされてゐたが、當局は金融界の要求を容れ、來る廿五日發行分から二ヶ月に短縮することとなつた。

南部雨量過多て 甘蔗作の實質低下

七、八兩月に一年分降る

南部地方は六月から八月にかけて雨量過多となり、殊に七、八兩月に一年分の雨量が降つたため、甘蔗の實質は著しく低下するに至つた。

臺灣製鹽が マグネシウム 原料を製造

近く試運轉を開始する

自給自足でなかつたマグネシューム原料の探出について當局中であつたが、この程之が成功し、近く製造の見通しを得たので、これを利用することになつた

即ち鹽の苦汁に於て海水の酒精粕からカラナイト（含硫マグネシューム複鹽）を探出して、之を一旦焙燒し、カラナイトは月產二百噸、硫酸苦汁は三百噸とブローム・カリ七十噸程を產出し、カラナイトは硫酸苦汁は日產の硫酸を以て硫酸苦汁は日產の硫酸マグネシューム複鹽として分離する方針で目下臺灣製鹽會社に於て研究中であるが、これが本格的に企業として成功すれば從來日本內地產の硫酸マグネシューム複鹽に依存してゐたマグネシューム製品の一部は自給することになつた

臺灣專賣局が 洋酒の釀造……

將來市場制覇の野心で

臺灣專賣局 洋酒の釀造 將來市場制覇の野心で

外國酒類の輸入杜絕で內地に於ても元來可成りな需要をもつてゐるが、從來は輸入品に依存してゐたので、その供給が充分でなく、ストック品も殆んど底をついてゐたので、專賣局ではこれが對策として、ウヰスキー、ジン、ブランデイーなどに代る國產酒を新に製造することになつた。又それに關して「ヘノポリー・ウイスキー」と稱して「ヘノポリー・サントリー」級のウイスキーを發賣する筈で目下製造中である。又ブランデイーに關しても專賣局の專賣として「オンライ・リキュール」「モノポリー・ジン」を來年早々町に發り、更に來年度の中頃には「ヘノポリー・ウイスキー」の計畫があり、いづれも專賣當局の手許で研究と試驗が進められてゐる

高雄港の 砂糖荷動き

【高雄特電廿六日發】昨年十二月期當時同期に來八月二十日に至る荷動

人造石油製造事業 奬勵金額を決定

【東京廿六日發電通】商工省では人造石油製造事業奬勵金交付規則に基き、本年度に於ける交付額を左の如く決定、二十六日附官報を以て公布した

ブナ、ゴム現物……キログラム一圓
ガソリン……リットル二圓
ガソリン・ブレンド……リットル一圓
ガソリン・アルコール混合……リットル一圓
ガソリン・ベンゾール混合……リットル一圓
ガソリン・アルコール・ベンゾール混合……リットル一圓
ガソリン・アルコール・ベンゾール・ブレンド

★…創作…★ 憎めない (三)

能登芳子

その翌日の午後、服木が忠子を呼びに來た。何かの用にかこつけて呼べば呼ばれるものを、つけから、用があるから來てよい、と言ひ出すに服木も服木なら、場合が場合だしそれが良い加減にあるまいと思つてか行き渡る忠子ではなかつた。縫ひさしの針物にチ劍をうつたまま息切かけて行つた「お上んなさい。」

片脇なので、御宜上こしらへた縫物所讓の木作り万年ベッドに腰をかけて、向ひ側に與へた座敷の椅を見てゐた服木は忠子を見ると立ちよりもしないで言つた。

「出來ましたの？」上つて見ると忠子の腰に新しいのは一枚だけであつた。未だ乾いてゐなくて未完成かもしれなかつた。

「どれが一番好きですか？」さう言ひ掛けて、常に問ふやうに、服木は、さう聞いた。忠子は、新作の「風雪の陣」が矢張りいいと言つた。理由、その縫物なタッチは好きであつた。

「さあ、それを上げます。」と自分で我の椅を持つて來た。腕の無い方の袖が、その時、妙に淋しかつた。

「どうして？」忠子は眉から下つたりのない袖からあわてて服をそらすと、服木への感覚の浪えるを感じて言つた。

「上げる。」

服木は同じ言葉をくりかへした。

が、それが何等的で、忠子は受けねばならない氣がした。

「どうせ、何とか御禮はしようと思つてたんだけどね。」

結つて他に見せると、服木が、幾談の件の椅を暗に強調した意味にでも取つたらしい。椅の言葉が、忠子には、ふつと不快になつた。何時も最後れた服なのに、椅を持つて來てくれた服木の、無い腕の淋しさが何故かひしくと身につまされるのであつた。

あとでビールでもとひて上げようと思ひながら、逢はずに二日經過ぎた時、三十五、六の女が忠子を訪れて來た。

「村岡さんの奥さんが、あなたに聞くと行先がわかるとおつしやいましたが。」

と女は言ふ。

「そんな筈はありません。昨夜さんのお引越になつた筈さ（初耳ですのよ。」

女は疑ひが消えると先空したらしく良い御感情に陥りたい、風に乗んでゐた忠子はだんだんその女が川客過程に思へてきた。

「何か御用でしたの？」

「いいえ、別に――」そして急に自分の椅子を直したらしく、

「あの、失礼しました。」

と女は猫りかけた。

「あ、あなた、失礼でせんけど、お名刺うかが（ましたら……若し、服木さんから聞りでもありましたらお報らせしませうけど。」

それに對して又、女は良いこと思ひ出した。思案した末に、紙と鉛筆を借りて、雨の手でかくやうにしながら書いたものを忠子に渡して、

「では、何卒お願ひ致します。」と言ひ捨てるやうに歸つて行つた。

忠子が、紙きれを開いて見ると市内京都縣染店スズラン四ルル子と記してあつた。

「あら」何と言ふ事なしに下駄をつつかけて表に出た忠子の眼に、チラと見えて女は角を曲つてしまつた。

靜つ無い袂が、またして忠子の頭のなかでヒラヒラした。(20)

神代文字の有無

（一）

夕花生

神代文字の研究者日ノ出部氏が我が古蹟を訪れて、神代文字の探索その他に就いて秘藏の古蹟を開けてみる次第である。ところで、左の諸項に就て多少の解釋の與へることのみ、上代に文字があつたといふ事は古蹟古書の記載によつて否定さるべきものでないといふ事は古蹟古書の記載によつて否定さるべきものでないといふ事は古蹟古書の記載によつて否定さるべきものでない